

日高の記憶

問い合わせ

生涯学習課文化財担当

☎042-985-0290

vol.10

広報ひだかでは「ひだか歴史名勝ナビ」から一推しの「地域ミュージアム物語」を抜粋して紹介していきます。ナビを見ながら歴史健幸ウォークをしてみたいいかがでしょうか。



地域ミュージアム物語第8編「高麗の宿を歩く」

野々宮神社奉納相撲場

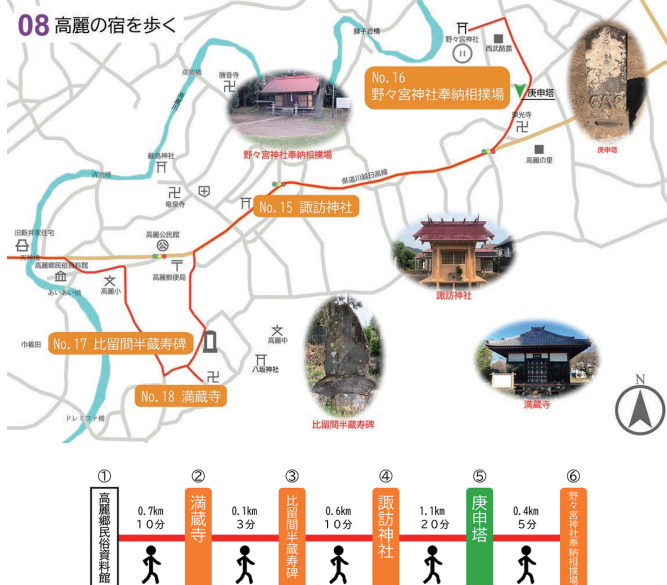
野々宮神社には相撲場が残っています。天保元(1830)年の相撲興業や、子ども相撲も開催されていたなど多くの記録が残っています。

日高と相撲の関わりは古く、奈良時代、高麗郡出身の高麗福信は相撲が強かったと続日本紀に記されています。江戸時代には栗坪出身のおおなるとらえもん士大鳴門浦衛門が、文政元(1818)年に栗坪勝音寺で勧進相撲を開催しています。

比留間先生寿碑

甲源一刀流比留間半蔵の顕彰碑で、比留間道場の跡地にあります。「比留間先生寿碑」の文字は山岡鉄舟の筆で記されています。幕末のころ、当地域は一ツ橋家領であったため、道場には渋沢栄一も訪ねて来ています。

08 高麗の宿を歩く



こうしんとう 庚申塔

体内にいる虫と考えられていた「三戸」が、閻魔様に日頃の罪状を報告しないよう寝ずに過ごすことを「庚申待ち」と呼びます。宝暦13(1763)年、これを成就した記念に建てられました。青面金剛、三猿が彫られています。

高麗陣屋と高麗町

慶長2(1597)年、高麗本郷にあった陣屋が火災に遭い、栗坪、梅原村の諏訪神社周辺へ移り高麗町と呼ばれるようになりました。天和、貞享のころの記録では、宿場で売られていたものは、農家で必要な縄むしろ、茶、炭、紙、筆墨、きせる、草履、麻切れ、木綿切れ、豆腐、油、茶わんなどの日用品でした。ろうそく、げた、割り箸、ござ、奈良漬、美濃紙などは川越まで買いに行きました。

親子ハッピーたいむ参加者に聞きました！

雨の日は何して遊ぶ？



石川彰子さん
いかり 庵ちゃん



吉光知美さん
あさ 彩咲ちゃん
りゅうのすけ 瀧之介ちゃん

編集室

時が経つのは早いもので、広報ひだかの編集に携わった、本年度も取材で皆さんとお会いすることを楽しみに、また、その内容を多くの方に、全力で取り組んでまいります。

季節の変わり目は体調を崩しやすい時期です。まだ体が暑さに慣れない時期のため、無理をしないようお過ごしください。



だん 齋藤暖ちゃん(1歳0か月)



こうき 岡田晃希ちゃん(4歳7か月)
あかり 明利ちゃん(3歳3か月)

お子さんの写真を掲載しませんか？
電子申請で簡単に投稿できます。

